

令和8年4月28日（火）

山本一太群馬県知事

定例記者会見

温泉文化国会議員訪問



柴山昌彦議員

本日の主な項目

- **ジュニアアスリート育成事業の参加者募集**
- **ライフデザイン事例集**
- **クマへの注意喚起**

ジュニアアスリート育成事業の参加者募集

プレキッズ

小3



特長



- 基礎運動能力を高める
- 適性競技を発見

スーパーキッズ

小4
~6



特長

- 3年間専門競技を継続
- 20競技団体の指導

スタージュニア

中学生



特長

- 高度な専門教育
- 22競技団体と連携

ジュニアアスリート育成事業の参加者募集

世界で活躍するアスリートを育成!



各コース
参加者募集中!

詳細はこちら



ライフデザイン事例集

先輩社会人の「LIFE」をリアルにレポート

群馬県
ゆかりの

若者のためのライフデザイン事例集 2025
LIFE-100 Real Report

先輩社会人 50人に取材!
社会の多様化が進み、100人いれば、100通りの人生がある!
身近な先輩たちは、何を考え、どのような人生を選び、歩いてきたのか?
群馬に生きる50人の「LIFE」をリアルにレポートしたライフデザインの事例集。



若者のためのライフデザイン事例集 2026
LIFE-100 Real Report

先輩社会人 50人に取材!
社会の多様化が進み、100人いれば、100通りの人生がある!
身近な先輩たちは、何を考え、どのような人生を選び、歩いてきたのか?
群馬に生きる50人の「LIFE」をリアルにレポートしたライフデザインの事例集。



「若者が若者のために作った一冊。」



県内の大学生等が
制作に参加

ライフデザイン事例集

マイヒストリー（人生チャート）

- 0歳 東京都葛飾区で生まれる
- 3歳 父が、母方の家業である肥後農家の後継者となり桐生市へ牛との生活が始まる
- 12歳 地元中学校に入学
- 15歳 農業系高校に入学
牧場でアルバイト、課題研究では酪農教育ファームを行う
- 18歳 農業系大学に入学
キッチンカーでの出店
- 19歳 新規就農に向けて動き始める
- 20歳 大学卒業後、モーモーパラダイスをオープン
ジャージー牛を飼養し6次産業化
- 21歳 6次産業化からイベント出店、学校教育の場での食育に参画

振り返って、マイライフ

小さい頃の夢は？

小学生の頃は農家カフェ、中学生からは酪農や畜産など、牛と関わる仕事がしたいと思っていましたが、世間からのマイナスなイメージを知って否定概念を覚えたと思います。

ターニングポイントとは？

3歳で朝晩に引連れて牛との生活が始まったことは、その後の人生に大きく影響していると思います。また大学卒業と同時にモーモーパラダイスをオープンできたことも転機です。これからはもうひとつに挑戦していきたいです。

これからのライフデザイン

世間の畜産業に対するイメージを変えていきたい

ライフ 仕事でやりたいことがあり過ぎて、プライベートでやりたいことがありません。今は牛や牧場のこと、キッチンカーでの販売や食育活動について働いていきたいです。

ワーク 6次産業化による新しい酪農の形として、乳製品の製造・販売やキッチンカーでの出店に加え、自分がイベントを主催して畜産業の悪いイメージを変えたいです。

教えて、人生の先輩！

Q 将来のために、今やっていることはありますか？

A. 「食」を通して農業や畜産の魅力の発信に力を入れています。「搾乳」や「バター作り」などの食に関わる体験をきっかけに畜産に興味を持つ人が増えるので、私もそのような体験ができる牧場にしていきたいです。

Q 自分に向いている仕事の見つけ方を教えてください

A. 好きなことを仕事にしない方がよいという人もいますが、私はずっと好きなことをしていたので、仕事も好きなことを選びました。とりあえずやりたいことに挑戦して、できないと思って諦めずに行っている、応援してくれる人が現れてうまくいきます。

Message for Reader

ずっとひとりで行っていると同じことでも考え違えば、正解がわからなくなる場合があります。そんな時は周りに相談して、本質を見直すと考えが浮かぶかもしれません。

取材協力

モーモーパラダイス
酪農学生乳を生産するジャージー牛を飼養し、飲むヨーグルトやモッツァレラチーズなどを6次産業として商品化し、キッチンカーにて販売しています。



「夢に向かって踏み出す一歩が、未来の現実を作っていく」

Real Report No.01

小林 友那さん (21) # 牧場主、酪農家

PROFILE

2003年生まれ。東京都葛飾区出身、桐生市在住。3歳の時、両親が酪農をするために桐生市に引っ越し、19歳で牧場を購入し、ジャージー牛の飼育から乳製品の製造・販売まで一貫して手がける「モーモーパラダイス」を開業。

夢中で行動していたら応援してもらえた

中学生の時からずっとやりたかった酪農を、大学1年生の時、どうしたら実現できるかプランを練って細かくチェックし、2年生からひとつずつ実現させていきました。乳製品を作りたかったので保健所に行ったり、市の農林振興課に行ったりと、常に行動していました。最初は信用されなくて追い返されることもありましたが、周りの人に助けられ、何度も通ううちに真剣さが伝わって、卒業時にはすべての準備が整い牧場を開業できました。

マイスケジュール

牛の世話をしているのが病気にはなれませんが、不特定多数の方と接する販売は、特に気を付けています。

- 6:00 起床
- 6:30 牛舎作業 (餌やり、搾乳、除糞など)
- 8:00 牛舎作業終了
- 9:00 キッチンカーでイベントへ向かう、出店準備
- 10:00 販売開始
- 16:00 販売終了
- 17:00 牧場へ帰る、キッチンカー片付け
- 18:30 牛舎作業 (餌やり、搾乳、除糞など)
- 20:00 牛舎作業終了
- 21:00 夕食
- 23:00 就寝



「ライフ」
朝起きて牛舎で働く人。

「ワーク」
大好きな牛と一緒に

MY HISTORY

- 0歳 前橋市に生まれる
- 6歳 小学校でサッカー、ゲームに夢中になる
- 12歳 中学校では部活よりゲームを優先
- 15歳 高校では約りに集中する
- 18歳 大学ではスキーに夢中になる
- 22歳 大学卒業後、就職
- 27歳 結婚、2年後に第1子、さらに2年後に第2子誕生
- 35歳 登山を始める
- 39歳 ロードバイクを始める
- 42歳 管理職に就任

TURNING POINTS

人生最大のターニングポイント

結婚と2人の息子の誕生が最大の転機です。生活リズムと幸せが生まれ、家族がそばにいてくれることに感謝しています。よく、こどもたちの服をみるのですが、そういう小さな触れ合いが一番の幸せだと感じています。

TURNING POINTS

アクティブな管理職を目指して

登山を始めて培われた計画・リスク管理・達成感の仕事のプロジェクト推進力にも生きています。ロードバイクで長時間乗って走り続ける経験は、管理職としてチームを牽引する持久力につながっています。

教えて、人生の先輩！

Q 仕事とプライベートを再立するコツを教えてください

A. 仕事は期限がありません。だからこそ「やらんこと」を決める勇気が大切です。優先順位をつけて、区切りを決めて切り上げる習慣が、仕事とプライベート、どちらも豊かにしてくれると思います。

Q 人生に影響を与えた人物はいますか？

A. 元Microsoft、伝説のプログラマー 中島聡氏です。良いものは独占せず、みんなで共有して使おうというIT業界のエンジニア文化と考え方は、自分のエンジニア人生に大きな影響を与えてくれました。

Q 子育てで心掛けていることはありますか？

A. 寝かしつけの時に、一日のできごとや週末の予定など、楽しいことを話そうとしています。寝かしつけは小学校5年生までなのであと数か月。寂しい気持ちとともに残りの時間を大切にしています。

Message for Reader

仕事において全力で結果を出すためには、仕事以外の時間をインプットが大切だと思います。本、映画、趣味などから、どんどん吸収して、人生を思い切り楽しんでください。

取材協力

NII 日本情報産業株式会社
東京に本社を置く、独立系IT企業で、システム企画・開発・運用などを行っています。2024年11月、前橋市に新たな事業拠点を設け「NIIテックラボ」を設立。



齊田 亮さん (42) # 開発エンジニア

1983年生まれ。前橋市出身。在住。大学卒業後に地元に戻り、IT企業に就職。システムエンジニアとして現場で活躍後、現在は管理職として、ソフトウェアの開発から運用までカバー、13歳と11歳のこどもを持つ父親。

仕事のパフォーマンスを高める成長を支える思考の並列化

大学卒業後、パソコン1台で、社会の層を支えるシステムが構築できるIT業界に魅力を感じ、NII 日本情報産業株式会社に入社しました。昨年7月に管理職に昇進し、現在はチームを率いて日々の業務に邁進しています。

業務では30分刻みでスケジュールを管理しながら、複数のプロジェクトを進行しています。効率化は大切にしてはいますが、最初からマルチタスクができたわけではありません。タスクを横並びで考え、情報の取捨選択を繰り返しながら、思考を並列化させる練習を続けることで、少しずつでも成長を目指すのが大切だと思っています。これはコンピューターの仕組みにも通ずるものがあります。私自身、マルチタスクに抵抗がなかったことも、この業界を選んだ理由の一つかもしれません。

仕事はデスクワークが中心のため、健康維持を兼ねた毎日のウォーキングやサイクリングも欠かせません。ロードバイクで限界に挑むことは単なる趣味を超え、世界を広げる挑戦です。休日は思い切り遊び、良い仕事をするために「食べる・動く・寝る」の3つのバランスを整える。これが私の健やかな日常を支えています。

MY SCHEDULE

- 6:30 起床
- 7:30 朝食
- 9:00 始業
- 10:00 午前 30分または1時間単位で各案件対応
- 12:00 昼食は歩いて思考を整理しながら軽めの食事
- 13:00 午後 打ち合せ、成果物レビュー、フィードバック対応
- 18:00 終業
- 19:00 夕食
- 20:00 トレーニング (ランニング、サイクリング)
- 21:30 入浴
- 23:30 妻と日替わりでこどもと就寝



POINT!
曜日ごとの寝かしつけを分けていきます



▲ヒルクライムに挑戦



▲仕事はデスクワーク中心

掲載内容

- ▶ インタビュー記事
- ▶ ターニングポイント
- ▶ 1日のスケジュール など

詳細はこちら→



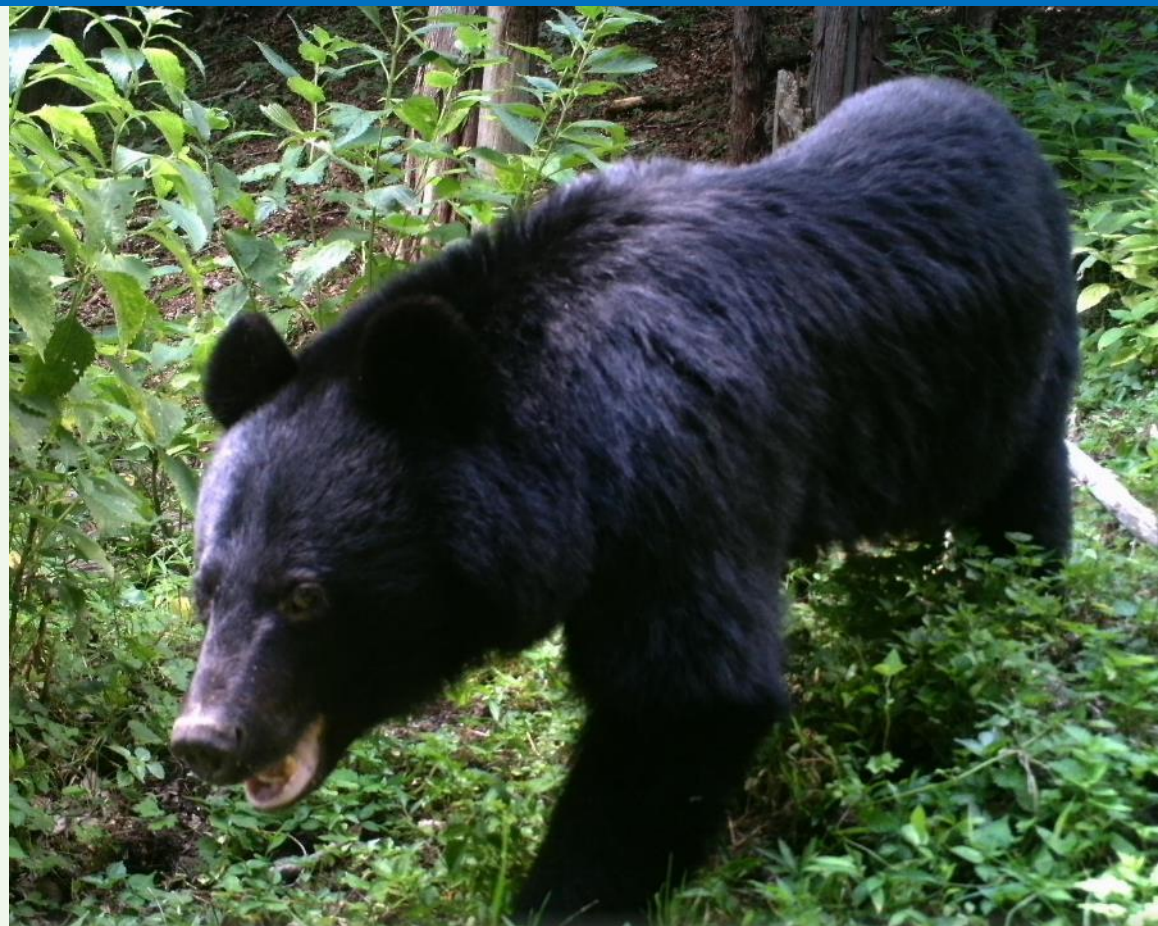
クマへの注意喚起

山周辺での行動

- ・ **音**の出るもの、
クマ撃退**スプレー**を携帯
- ・ **早朝**・**夕方**を避ける
- ・ **子グマ**には近づかない

住宅地周辺で目撃

- ・ **建物**や**車の中**に避難
安全を確保できたら、
- ・ **市町村**や**警察**に**通報**



クマ出没マップ

最新の**出没情報**を掲載



令和8年4月28日（火）

山本一太群馬県知事
定例記者会見



質疑応答中